



豊小だより

2021.7.7



ネットと上手に付き合うために～メディアコントロール週間の取組～

6月14～20日に、メディアコントロール週間を設け、「みのりっ子」スマートルールが守られているか自己評価する1週間としました。週末の金曜日には、ネットやゲーム、テレビ等に費やす時間を読書に充てることができるよう、親子読書の課題を出しました。今後ますますデジタル化が進んであろう社会の中で生きていく子どもたちにとって、ネットを上手く活用して自分の生活を守ったり、豊かにしたりする力が求められます。便利さと一方で危険性を両方指導していかなければいけないと考えています。保護者の皆様には、取組にご協力いただきありがとうございました。

また、下校後の子どもたちの様子を見ていらっしゃる祖父母の方を含め、ご家庭の皆様で、危険性について理解を深めていただきたいと考え、6月3日に実施した情報モラル教室の様子をYouTubeで限定配信をさせていただきました。3・4年生の動画は123回、5・6年生の動画は76回の視聴がありました。352の家庭数から考えると、約半数のご家庭で視聴していただいたこととなります。授業参観や八幡山マラソン大会の動画配信と比較すると少ない数字でしたので、「見逃してしまった」「もう一度見たい」というお声があれば、講師の方に相談して再度限定配信をしたいと思えます。

また、本校のホームページのトップ画面に「青少年のネット非行・情報対策情報」のアイコンを設定しました。クリックすると、県の県民安全課が公開している「インターネット上の危険等に関するメールマガジンの配信」のページに繋がります。子ども向け・保護者向けの情報が閲覧できるようになっていますので、こちらの方も是非ご活用ください。

右のQRコードからアクセスできます。→



以下は、取組を終えての子どもたちの振り返りと保護者の皆様から寄せられた感想です。

【1年生】本当はもっと見たかったです。でもがまんできました。

【2年生】平日はできているけれど、休日は時間がいっぱいあるから、ゲームをいっぱいやったのが惜しかったです。

【3年生】平日のゲームの時間を15分減らしたら、運動がいっぱいできるようになったのでうれしかったです。

【4年生】インターネットの他にも、とても夢中になれることをみつけられました。

【5年生】ゲームをずっとするんじゃなくて、読書やお手伝いをすると気持ちがよくなります。

【6年生】ほとんど守れたけれど、少しオーバーしてしまう時もあるので、運動、学習、お手伝いなどでゲームの時間をへらそうと思います。

【保護者の方から】

・タイマーを使って時間を計り約束を守れてえらかったね。

・メディアの時間が減った分、会話が增えたように思えます。大切な時間だと思いました。

・大変よく頑張りました。時間をしっかり守って、空いたところは屋上に出て星を見たり、お母さんにとってもいい時間を過ごせました。これからもずっと守ってみたい？





道徳週間へのご協力ありがとうございました



前号で、本校が道徳科を中心として、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことに力を入れていること、県から*「親子で学ぶ道徳講座」の指定を受けていて、その一環として、親子で参加する道徳授業を実施するための「道徳週間」を設けたことをお伝えしました。「親切・思いやり」の項目を扱った道徳科の授業の内容をお子様から聞いたり、お子様といっしょに考えたことやお子様へのメッセージなどをワークシートに書いたりしていただきました。取組へのご理解・ご協力、ありがとうございました。授業後、保護者の皆様からいただいたメッセージを紹介します。

*道徳教育の質の向上とその一層の充実を図るため、地域や親子のコミュニケーションや世代を超えた道徳的価値の交流を通して、家庭と地域の連携を深めるとともに児童生徒の道徳性を地域社会全体で高めることを目的とした事業。

- 【1年生保護者】自分のことだけでなく、周りのお友達の気持ちを考えることができましたね。してもらってうれしかったことは、相手にもしてあげる。嫌なことや悲しいことはしないように、まず考えてから行動しましょう。
- 【2年生保護者】お友達にされたらうれしい気持ち、温かい気持ちになると思うので、自分も人には親切に、思いやりの気持ちをもって関わろうねという話をしました。今日学んだこと、感じたことを日常で生かしてほしいです。
- 【3年生保護者】お話を読んでくれ、授業の様子を教えてくれたのでよく分かりました。人に親切にすることは、今回のクマタのように簡単なことばかりではないけれど、自分がしたこと相手が喜んでくれるのはうれしいし、親切にしたいな、してもらってうれしいなという気持ちはいつまでももっていてほしいなと思います。
- 【4年生保護者】知り合いではない人に声をかけるということは大人でも勇気のいることです。周りの状況をよく見て行動できる人に、私たち大人もならなくてはいけないと思いました。
- 【5年生保護者】車椅子の人だけでなく、目の不自由な人、耳の聞こえない人、いろんな障がいをもった人がいるから、その人たちといっしょに社会で働くこと、知り合いになることもあると思います。もし、自分がそういう立場になったらどうしてほしいのか考えるよい授業だね。パラリンピックを見て何か学ぶものがあるといいなあ。
- 【6年生保護者】障がいのある人にとってその障がいは日常的なもので、これから先もずっと付き合っていくものだよ。だから、その障がいをもっているからといって特別な目で見られたり、全く配慮がなかったりしたら辛いと思う。障がいのある人が日常の生活を送る上で困らないような配慮を周りのみんながしていくことが大事だね。そして、心の中はみんな同じだから、障がいのある人とも友達や家族と同じように接していきたいね。

今回、道徳週間やメディアコントロール週間、親子読書と、保護者の方の学習への参加をお願いすることが重なりました。そのため、兄弟のいらっしゃる保護者の方にはご負担をおかけすることになってしまい、申し訳なく思っています。今後も子どもたちの学ぶ姿をご家庭にお知らせするとともに、時期や事前のお知らせ等の配慮の上、子どもたちの思いや考えを聞いていっしょに考えたり、人生の先輩としてアドバイスしたりする機会をもっていただけるよう取組を進めて参りますので、引き続きご協力の程よろしく願います。



【お詫びと訂正】前号のマラソン大会の感想の「4年YN」は「4年KY」の誤りでした。お詫びして訂正します。

*学校生活の様子を本校ホームページからご覧いただけます。右のQRコードからアクセスできます。→

